



インスピレーションになるろ

2018～2019年度

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ホテル千成
Tel:0439-52-8511

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-20-8880

Vol. 31回 No.2084 2019.4.8

平成31年4月 第2例会 晴

開始点鐘 永嘉 嘉嗣会長

R ソング 我等の生業

四つのテスト 早見 秀一会員

【出席報告】 免除者3名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2084	55	52	38	14	73.08%
2083	55	52	30	22	57.69%
前々回の修正	メイクアップ0名				62.96%

(敬称略)

会長挨拶及び報告

永嘉 嘉嗣会長

がんといっても様々ですので一括りにしないでほしいというのが医師として思うことですが、今日はがんのことについて少し話したいと思います。がんについて全く聞いたことがないという方はいないと思います。高齢化社会を迎えて今や2人に一人はがんを患うという時代です。皆さんの周りにもがんを抱えている方はたくさんいるだろうと思います。或いは皆さん自身や御家族にもいらっしゃるかもしれません。がんに対する対処法ですが、まずは地域で行われているがん検診に関して可能な限り受診することをお勧めします。以前お話ししましたが、がん検診自体に多少の問題が内在している場合もあります。ですが受けないよりは受けたほうが絶対にいいです。まずは受診して要精査となったら迷わず精密検査を受けることを周囲の人にも勧めてください。

そしてがんを診断された場合はどうすればいいでしょうか。がんというと以前はそれを患っているというだけで社会からはドロップアウトしてしまう感じでしたが、今は違います。がんの治療の進歩により、がんの種類、進行度などからどの程度の治療でどの程度の生活がどのくらいの期間可能かどうかということがかなり正確に予測できるようになったからです。皆さんの事業所でも欠くべからざる人材ががんを患うことが必ずあると思います。その時にすぐその方に対する対処方法を決める必要はありません。がん拠点病院を中心とした幾つかの医療機関に今後の治療、予後などについて相談してください

い。そしてその中でどの程度のことを犠牲にすればどの程度の労働がどの程度の期間可能かということに関してきちんと意見を聞いてください。がんは必ずしも完治させなければいけない病気ではありません。進行度、悪性度によっては完治を望むことは不可能な場合もあります。その場合にも今後の経過についてかなり正確な予想がつきます。その予想に基づいて会社としての対処方法を決めればよいと思います。次の人材をどの程度の期間で育てればいいのかそれに対処する時間は十分あります。経営者としてはそのあたりに対して冷静さを保ちたいものです。

がんというとその終末期にはかなりの苦痛を伴うということが一般的であろうと思います。しかしながらこれも杞憂です。いまや終末期医療はかなりの進歩を遂げており疼痛、不安などに対して的確に対応できます。

いずれにしてもがんそのものの治療だけではなく、それに対する対処方法全般として以前とは全く違ってしますので少し気に留めておいてくださればと思います。なにか疑問点などありましたら、例会の時にでも気軽に聞いていただければと思います。

報告

1. 第10回理事会が4月1日に開催されましたので報告を致します。

1) 会計報告

臨時徴収金(収入)について予算に対してマイナスですが今後の夜間例会開催などの予定があり前年度並みであることを確認済み

2) 新入会員について

藪武 (やぶ たけし) 様

黒崎播磨(株) 君津支店長 56歳

松井会員の後任

*推薦者 谷口会員 職業分類: 窯業

篠塚知美 (しのづか ともよし) 様

(有)Stay Dream Project 代表取締役 50歳

*推薦者 内山会員 職業分類: 居酒屋

3) 直前会長・副会長について

直前会長については、例年通りパスト会長バッチを贈る。直前副会長については、バッチもしくは本人希望のものを贈る。

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
ガバナー 橋岡 久太郎
ガバナー補佐 吉野 和弘

会長 永嘉 嘉嗣
会長エレクト 内山 貴美子
副会長 倉繁 裕

幹事 岡野 祐
編集 大住 昌弘

- 4) 駅前花壇の花植え実施日について
実施日：5月27日(月)
*活動計画書年間プログラム通り
対象：新3年生

- 5) 新・現合同理事会開催について
①5月13日 11時30分～ホテル千成
②6月3日 17時30分～旅館かわな

- 6) その他
*甲府東RC創立30周年記念式典のお祝いについて
例年通り 御祝3万円と地酒を贈る
*甲府東RC創立30周年記念式典参加者会費について
日帰り…1万円 宿泊後帰宅の場合…2万5千円

幹事報告

岡野 祐幹事

〈報告〉

- 4月9日(月)、周西小学校入学式が開催されます。
受付：8時45分(開式：9時15分)
出席：岡野幹事
- 4月10日(火)、周西中学校入学式が開催されます。
受付：8時40分(入場：9時20分)
出席：内山会長エレクト
- 4月13日(土)、2019年度ロータリー米山記念奨学金カウンセラー・米山奨学生・指導教員オリエンテーションが開催されます。
受付：13時
場所：船橋グランドホテル
出席：廣田会員(カウンセラー)
- 4月13日(土)、第47回地区ローターアクター年次大会が開催されます。
点鐘：13時(登録開始：13時30分)
場所：モリシアホール
出席：吉野ガバナー補佐、地区RYLA委員会
黒岩委員長

〈回覧〉

- 君津RC週報
- 第5グループ週報
- 第5グループ親睦ゴルフ大会の出欠について
- RLI(ロータリー・リーダーシップ研修会)Part IIIの出欠について

〈配布物〉

- 例会プログラム
- ロータリーの友(4月号)
- オルカ鴨川FCチラシ
- かずさFMより冊子「KAZUSA」

委員会報告 公共イメージ向上委員会 「ロータリーの友」4月号の紹介

谷口弘志副委員長

日鉄テックスエンジ(株)の谷口です。公共イメージ向上委員会の今月当番として、私の方から4月号の掲載記事のポイントを紹介致します。特に4月は表紙に記載の通り、「命の重みを感じてますか?」というテーマ、併せて母子の健康月間として「安全なお産のために」という特集記事が掲載されております。それぞれの内容を掻い摘んで紹介致します。

(1)BARRY RASSIN-RI会長メッセージ 横書きP3

国際RI会長として世界中を旅する中で、受け止めがたい現実とそれに直面している人々に出会うそうです。例えば、悲惨な現実とは“世界のどこかで、2分に1人が妊娠や出産によって命を落としていること、誕生後6週間以内に母親を失う新生児は、母親がいる新生児よりも死亡率はるかに高い”ということです。この母子の問題に全力で立ち向かっているロータリアンを紹介している。

- ・バルト三国の一つでラトビアのイェーカブピルスにある病院に、世界中の21のクラブがグローバル補助金プロジェクトに参加して診断機器や保育器などを提供した。
- ・ブラジルでは、地元のロータリアンが日本のロータリアンと共に、新生児集中治療室の収容力を大幅に向上させるグローバル補助金プロジェクトを実施した。
- ・モンゴルでは、ニュージーランドの職業研修チームが医師と助産師を対象とした緊急時対応技術の研修を企画し、助産師に近代的なベストプラクティスを教えるプログラムや出産前教育のマニュアルを作成した。

この様に、ロータリアンが他に類を見ない奉仕活動を行うことができるのは、“世界中に広がるロータリーのネットワークがある、地域社会ではロータリーが人々の最も必要としていることを把握している、会員達が数えきれないスキルや職業にまたがる専門技術を持つ、そのお蔭である。”

(2)「地域と共に11年/自殺防止への取り組み 徳島南RC」 P8~9

徳島南RCでは過去11年に亘り自殺防止の取り組みを継続している。日本での自殺者数の傾向は、P9のグラフの様にバルブ崩壊後の1998年に年間3万人超となり、その後2006年に自殺対策基本法が施行され、政府が自殺総合対策大綱を決定するなどの取り組みで年々減って行き、2018年は2万598人に減少。特に若者(15~34歳)を対象とした死因の主要先進国比較は、日本は自殺が第1位であるが、他国は事故が第1位であることを示している。

徳島南RCでは、自殺問題をクラブ会員一人一人が何とかしなければならぬ社会問題として捉え、2007年から第1回公開講座「自殺防止フォーラム」を開催し、2009年には第2回「自殺サミット2009 in 徳島」、2010年は第3回「多感なメンタルヘルスを万全なものにするために家庭・教師・本人は何をすべきか」をテーマにしたシンポジウム、以降は数回に渡り様々なテーマのワークショップを、そして前年度の記念すべき第10回は、「思春期から青年期をいかに上手に過ごすか」をテーマとした公開講座を開催。この記念公開講座では、徳島県の中学・高校の先生を対象に「自殺防止に関するアンケート」や、「もし、身近な人が自殺を考えていると分かったら、あなたはどうか」について親・子供・観察者のそれぞれの立場での意見・討論会を実施。今年度の第11回は、最近の若者の重要なツールであるスマートフォンに焦点を当て、「SNSを使って感じる諸問題」をテーマに公開講座を開催。ネット依存症、SNSを利用したいじめや性的被害についてのワークショップ形式での話し合いを持ったとのこと。

自殺防止に必要なことは、現代社会で全ての人が抱くであろうストレスやコンプレックスを、自分一人で解決しようとしないうこと、身近な人に相談できる環境をつくること、悩んでいる人を孤立させないことであると述べている。

(3)「自殺を防止するために アプローチ会 徳島南RC」 P10~11

徳島南RCと連携して自殺防止の取り組みを進めているアプローチ会は、Approach For Life Saverという特定非営利活動法人(NPO)で、自殺防止の奉仕活動を草の根活動で展開している約50人から構成される団体で、2009年にNPO法人に認証された。徳島県を中心に公開講座、Eメール相談、医師会との連携などの活動を進めている。現在、徳島県の10万人当たりの自殺死亡率は12.0人と全国で最も低い数値となっている(全国平均は16.3人)。

(4)「子供の命は地域で守る 東京東江戸川RC」 P12

東京東江戸川RCは、創立記念事業として「子供の命は地域で守る・子供のサインを見逃さない為に」と題してシンポジウム、並びにパネルディスカッションを開催。これは地域社会に向けて将来を担う若者の命について考えてほしいと訴える企画。厚生労働省の「自殺対策白書」によれば、男女とも最も自殺者が多いのは5月、小学生から高校生では9月1日が自殺のピーク。

シンポジウムでは「子供達は、9月だけでなく365日悩んでいる」、「子供の自殺や自傷が増えたのは大人が満たされてないから」という言葉が語ら

れた。

(5)「いのちの電話を支援 佐伯RC」 P13

「いのちの電話」の活動は、1953年にロンドンではじまり、日本では1971年に東京で開始された。現在は、(一社)日本いのちの電話連盟となつて約6,500人の相談員が活動中。

大分県の佐伯RCでは、今年はじめに第3回「大分いのちの電話」のためのチャリティーコンサート(地元出身の歌手が参加)を開催。来場者は600人で、集まった募金を「大分いのちの電話」に寄付。「いのちの電話」の活動を多くの市民に周知するとともに、ボランティア相談員たちにロータリークラブからエールを送る機会となった。

(6)「命のバトンを未来へ 江南RC」 P14~15

愛知県の江南RCでは、昨年10月に中学校で「いのちについて考える 生命誕生、そしてつながり」と題した出前講座を開催。本講座は、命の重みや大切さを実感することで、自分自身の尊さを再認識し、同時に友人を認め、助け合う心を育み、将来に亘って有意義な人生を歩み、助け合う社会を実現したいと願って開いたもの。

2018年の出生数は92万1,000人(統計開始以来最少)、2017年の児童虐待対応件数は、13万件以上、虐待死亡事例は年間50件に増加。出前講座では、「両親からリレーみたいなので、自分にバトンが繋がって命があることは奇跡であって、ありがたいことである」ということを訴えた。

「ありがたい」とは「有ることは難しい」、なかなか起こり難いこと、奇跡のようなことに対して、不思議と感謝の気持ちを感じるから「ありがたい」という言葉があるとのこと。

(7)「安全なお産のために 相模原橋本RC」 P16~17

記事は、中央アメリカ中部にあるホンジュラス共和国(面積は日本の3分の1、人口930万人、スペイン語圏)で相模原橋本RCが現地のダンリRC、特定非営利活動法人AMDA社会開発機構と協力しながら「母子の健康事業」を進めていることを紹介している。具体的な内容は、エル・パライス州で「新生児及び妊産婦死亡率の改善=エコー受診率の向上」を目的にグローバル補助金事業「EI Paraiso Safe Childbirth Project」を、補助金総額11万ドル(約1,200万円)、期間は2016年12月~2018年11月迄の約3年間で進めた。具体的な取り組みは、エル・パライス州内の3カ所の母子健康センターに超音波診断装置を設置し、医師・看護師に使用方法や検査方法の研修、啓発活動を通じて多くの妊産婦にエコー検査受診や施設分娩を推奨することを担う山間部保険ボランティアを育成するなど。更に全11回に及ぶ現地視察の結果、貧弱な送電網が原因で頻繁に

停電が起こることを確認し、発電機や無停電電源装置なども追加導入を図ったとのこと。事業開始以降、現地のテレビ局、新聞社や日本の新聞各紙が当該事業を紹介。クラブのフェイスブックへの投稿回数は49回、閲覧者の「いいね」は約1万5000件、公共イメージ向上に大いに貢献したとの認識である。

(8)「アジアの中に折りたたまれた日本のこころ (特非) ジャパンハート 吉岡氏」 縦P4~8

本記事は、特定非営利活動法人(NPO)のジャパンハート最高顧問、且つ医師の吉岡氏の活動を紹介している。医者になる切掛け、30歳の時にマンマー戦没者遺族会の支援を受けて現地の医療活動に従事した経験談、現地での医療活動を通じての医者としての葛藤、その後の医療奉仕活動の拡がりなどである。経験談を紹介すると、口唇口蓋裂(みつくち)の子供の手術を通じて、従来は結婚も出来ずやがて一人で年老いて死んでいく人生が、教育を受け、家族に囲まれて他の人と同じ様に生きていけるという事実を知った時、医療の役目は単に命を助けることだけでなく、患者の人生の質が少しでも良くなることであると実感したそうである。そして、悪戦苦闘の末にがんなどの難病の子供達を日本の病院の協力の下で、日本で治療する道を開き、それがジャパンハートという国際医療ボランティア団体としての活動に繋がったとのこと。日本で小児がんになる子は1年間に2500人で、主に白血病が半分を占め、日本ではその7~8割は助かる反面、アジアでは助かるのは1割程度という現実がある。そこでアジアのがんの子供達を助ける為にカンボジアに病院を作り、診療をスタートさせた。また日本では、がんの子供に医者と看護婦が付き添って、好きな所へ家族と一緒に旅行させるプロジェクトを進め、思い出を育むことで患者だけでなく家族を含めたケアを実践している。記事では最後に若者へのメッセージを述べている。芥川賞小説の「火花」の話を通して、“自分達が何かを成し遂げられなくてもいい。でも、この世の中を良く変えて行こう、という川の流れを作ることにより、自分ではない他の誰かが、もっと世界を良くしてくれるはず。だから自分達の背中を彼らに踏んでいってもらおう、僕たちは一つの分子でいいじゃないか。時代を変えるのはあなた自身かもしれない。でもそうじゃなくても良い”と提案している。マンマーでの経験を通して、“多くの人が戦争で亡くなり、その犠牲の上に今の平和な生活があり、異国で亡くなった人達と現代の日本で生きている僕達とは繋がっている。僕らは先に平和を受け取っている。それを返すのは未来へしかない。この世界が少しでも良くなる様に一緒に川の流れの一部になってほしい”という主張である。

以上で“ロータリーの友”の紹介を終わります。

メインプログラム

会員卓話「今の私があるのは。」

秋元ゆかり会員

皆様こんにちは。ルリアンの秋元と申します。

今日は卓話ということで文章力もなく、人前で話をするのが不慣れで聞きづらいとは思いますが、どうぞお付き合いの程、宜しくお願いします。

私は昭和50年、富津市飯野の秋元家の八女として生まれました。

祖父・祖母・父・母の大家族で育ちました。幼少期は両親が働きに出ていたので姉に面倒を見てもらい、物心ついた頃には妹も弟も生まれており、2男・15女の17人兄弟になっていました。一番上の長女と一番下の妹の差は24歳差もあります。

私は何歳の時だったのかははっきりとは覚えてはいませんが、テレビ局からの取材依頼があったみたいですが私達兄弟がいじめられるのではないかと思います。両親はお断りしたそうです。

菓子折りを持って、老夫婦が里子に出来ないかと家を訪ねて来たことも覚えています。

私は小さい頃、きかん坊だったので自分が里子に出されるのではとヒヤヒヤしていましたが、両親は生活が苦しいなかでも断ってくれたことも記憶にあります。

小学校に入って間もない頃に、他の子とは違う兄弟の多さに気づき、兄弟が多いことがとても恥ずかしく思えるようになりました。友達に「何人兄弟?」と聞かれることが多く、とても嫌で嘘をついた事もありました。

洋服や靴も姉のお下がりや、近所の方から頂いたりと決して裕福な家庭ではありませんでしたが、学校から帰るといつも賑やかでした。兄弟ゲンカも沢山してたくましく育ちました。

そして私が中学校に入ってから、父親がパージャー病という難病を患い、入退院を繰り返し、しまいには左足膝下を切断し、義足生活になり父は内職をし、母は昼・夜と休むことなく仕事をし、生活はかなり苦しかったとは思いますが、私達にはいつもと変わらない生活をさせてくれました。その親の姿に子供ながらに早く働いて親を楽にさせたいと思う気持ちが強くなり、姉が通っていた木更津東高の定時制を受験し、昼間はお弁当屋さん就職をし、夜は学校に通うそんな生活から半年が経った頃、友達と遊ぶことの方が楽しく思ってしまった私は学校も中退し、お弁当屋さん辞め、友達の家で居候をしていたりと家にも帰らなくなりました。

その後、お付き合いしていた方と同棲、20歳で



妊娠・結婚、21歳で長男を出産して親になって初めて親の大変さが少しはわかるようになりました。そして2人目を妊娠中別居、実家に戻り次男を出産、そして離婚と一年半のとても短い結婚生活。精神的にも一番辛かった時期でした。

実家に出戻った私と子供を温かく迎えてくれた両親や兄弟、それからは私が大黒柱になり、家計を支える決意をしました。

私が仕事に行っている時は親・兄弟が息子2人の子守をしてくれ、昼・夜と働くことができました。

その時、昔兄弟が多いことを恥ずかしく思っていた自分が情けなく思い、それと同時に改めて大家族を誇りに感じました。

今でも周りの方から「兄弟が沢山いるんでしょ？」と聞かれることがあります。今では自慢できるようになり、大変誇りに思っています。

親になってみて、育った環境は決して良い環境とは言えないですが、誰にも出来ない経験が出来たこと。ハングリー精神が鍛えられたこと。

10年前に父が他界し、私の息子からみればおじいちゃんですが、父親のように接してくれた父の存在。両親に教えて頂いたこと。物を大事にすること。人を大事にすること。食べ物を大事にすること。身体を大事にすること。沢山、沢山学びました。

沢山の経験を生かし、今現在飲食店を経営し、従業員にも恵まれ、7年目を迎えることができました。今の私があるのは家族・周りの方々の支えや協力のお陰だと痛感しています。

今までは無我夢中で仕事、子育てをしてきましたが、昨年、長男も結婚し、先月次男も20歳の誕生日を迎えることができました。

私の中の子育ては節目として少し肩の力を抜き、これからは自分自身の身体も労わりながら今を大切に日々笑顔を与えられる仕事、ロータリークラブ活動を心がけて参りたいと思っています。話が上手くまとまりませんが、最後まで私の話を聞いて頂きありがとうございました。

ニコニコBOX

- 永嶌 嘉嗣 先週、宮本さんにゴルフで勝ちました。やはり宮本組と勝負するコツは「話はするが会話はしない」ということがわかりました。
- 岡野 祐 土曜日の君津お花見ウオークにて、司会をやらせて頂きました。天気も良くて、とても良かったです。
- 倉繁 裕 先週、ロシアのグループ会社メンバーの年1回の定期訪問日がありました。日本のキャッシュレス化の現状を不思議がっていました。ロシア

40%に対し日本20%キャッシュレス、因みに韓国90%、中国60%、米国45%です。日本の現金の信頼性が高い等理由があるようですが、個人も会社もキャッシュレス化が効率的で、良いと思っています。

内山貴美子 秋元さん、本日は卓話ありがとうございました。本日、新理事会が開催されました。いよいよ新年度が近づいています。皆様、今後も宜しく！今日は初めての卓話で緊張しすぎてここ何日か寝れていないので今日はぐっすり寝れそうです。ご清聴ありがとうございました。

隈元 雅博 秋元ゆかりさん、卓話ありがとうございました。これからも共にロータリー活動を頑張りましょう！

宮本 茂一 先週、永嶌会員と2人で桜見しながらゴルフをしました！！日頃の努力を感じるゴルフでした。よく頑張りました。星3つです。秋元ゆかり会員、卓話ありがとうございました。

谷口 弘志 入会后、三度目の“ロータリーの友”の記事紹介をさせて頂きました。毎回読み込むたびに社会奉仕について参考になる記事が多いと実感しています。

佐々木昭博 4月6日(土)三船山お花見ウオークを無事とり行う事が出来ました。実行委員長の鈴木荘一会員を始め、運営に携わったメンバーの皆さん、大変おつかれ様でした！

別府 明人 寒くなったり暑くなったりで気まぐれな空です。体調に気を付けましょう。

赤星 哲也 秋元ゆかり様、卓話ありがとうございました。季節の変わり目です。皆様、ご自愛下さい。

小幡 倅 4月7日記念日のお花をいただきました。年一回の妻へのプレゼントありがとうございました。

小川 哲也 週末はゴルフをお休みして家内と会津に行ってきました。まだ桜はつぼみの状態でした。出張以外で離れた所を訪ねるのも良い物だと思いました。

内山 雅博 秋元ゆかりさん、卓話ありがとうございました。小学5年生になった息子が塾に通いたいと言うので許可しました。段々と親子の接点が減っていくのは寂しいですが、一方でどんどん成長してもらいたいという複雑

な思いです。

大森 俊介 駅前花だん、まだまだきれいです
が、来月末は植えかえです。皆様
のご協力宜しくお願いします。また、
鈴木会員には花だんの維持にご尽力
頂きありがとうございます。

高橋 雄一 昨日、君津お花見ウオークにご協力
いただいた皆様、花見日和で盛大に
終える事ができました。私はひさし
ぶりに鼻が日焼けしてしまいました。

大住 昌弘 先週、4人目の孫が生まれました。
平成最後の月で、学校に行けばおじ
ん扱いされるか心配！
今日から、娘と二人で約一カ月間、
柏の自宅に来てくれます。妻がうれ
しき半分、体力も落ち、やや心配顔
です。

喜多見 貴 明日から本部監査が1週間入るので
クビにならない様に頑張ります。

宮寄 慎 秋元さん、貴重な卓話ありがとうござ
いました。

大浦 芳弘 新年度を迎え、弊社にも新入社員40
名あまりが入社しました。なんとか
離職者ゼロで年満まで勤め上げてほ
しいものです。
桜の時期ももう終わろうとしていま
すが、今年度もロータリー活動を頑
張ります。

福田 順也 秋元ゆかり会員、卓話ありがとうござ
いました。

平野 寛明 秋元ゆかり会員、卓話ありがとうござ
いました。これからも宜しくお願い
します。

芝崎 均 秋元会員、卓話ありがとうございま
した。今日は昨日に比べると寒くな
りました。皆さん、寒暖の差に気を
つけて下さい。

秋元 政寛 秋元ゆかり会員、卓話ありがとうござ
いました。「私の今があるの
は。」素敵なタイトルです！

吉田 雅彦 秋元会員、極めて貴重なお話をあり
がとうございました。日本一の大家
族の家系図を拝見させて頂きたいと
思いました。先週末は晴天の中、二
女の入学式でした。子供共々感謝の
気持ちを忘れずに成長していきたい
と思います。

村上 進 皆様、こんにちは。秋元さん、卓話
ありがとうございました。今日、拓
大紅陵高校の入学式に出席して来ま

した。途中、ラインが黒岩さんから
入り、娘さんが拓大紅陵に入学され
たそうです。ご入学おめでとうございます。

坂井佳代子 秋元さん、卓話お疲れ様でした。
前田 亮 マジック四国大会、絶好調。3連勝
ですね。ただ、当社所属山川・山田
の登板が少ないわりに絶好調とは多
少複雑な気分です。

中野 賢二 桜が満開になりましたね。坂田で有名
な巨大ザクラも先週末が一番でし
た。千成の前から新昭和さんの裏へ
つづく道をまっすぐに行き、協立工
業の手前、左側にあります。時間の
ある方は、見て行って下さい。

武田富士子 6日(土)のお花見ウオークが無事
終了致しました。晴天に恵まれ、多
数の参加者がおり、桜もとてもきれ
いで良かったです。お手伝下さった
皆様、おつかれ様でした。本日席替
抽選大当りでした。不正はしてませ
ん。本年度2度目、3度目?ありが
とうございます。頂きます。

坂本 直樹 先週の4月1日(月)は会社の入社
式でした。現状では新卒者の採用も
なかなか難しいですが、若い人にも
選んでもらえるような会社づくりを
していきたいです。

